

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会(第 25 期・第 1 回)

日時：令和 2 年 10 月 12 日(月)10:30~12:00

会場：遠隔会議(主催会場:日本学術会議事務局) Webex 接続

出席者：会員 西弘嗣；連携会員 大久保泰邦、奥村晃史、木村 学、齋藤文紀、谷口真人、佃 栄吉、中田節也、益田晴恵

欠席：連携会員 なし

事務局：横田真理江（日本学術会議）

傍聴：北里洋東京海洋大学特任教

#### 議事内容

1) 役員の選出：委員長に西 弘嗣会員、副委員長に大久保泰邦連携会員、幹事に齋藤文紀連携会員が選出された。

2) メールアドレスの承認：委員のメールアドレスを分科会内部で公開し、使用することが承認された。

3) 今後の委員の追加に関して：

堀 利栄連携会員と掛川 武連携会員の追加が承認された。特任連携会員には、現在 IUGS において財務担当理事を務めている北里 洋 東京海洋大学特任教授が承認された。

(また、法地質学に関して IUGS の委員会の日本代表を務めている科学警察研究所の杉田律子氏を特任連携会員に追加することが承認された。)

新規連携会員への説明会が 11 月に計画されていることから、希望する連携会員があった場合は、検討することになった。

4) IUGS 分科会傘下の小委員会設置について：第 24 期で活動してきた 8 つの小委員会の継続が承認された。

5) 議事要旨の承認について：議事録を分科会内でメール回覧により確認し、委員長に一任することが承認された。

6) 25 期への申し送り事項と活動方針

6-1) 前期から先送りとなっている「チバニアン」シンポジウムについては、現在学術会議においては Web と会場とを連携した公開シンポジウムが可能であることから、その方向で実施する。学術会議の承認を得るためには、開催の 2 ヶ月前までにプログラムなどの詳細を決定しておく必要がある。来年の 2—3 月を目処に準備を行う。

6-2) IUGS 総会に対する対応：10/28-30 に IUGS の会合が予定されており、次期体制の投票と前期の活動評価を加盟国が行う。投票は加盟国各 1 票。日本代表は西会員で登録されている。大久保委員は、task group 関係者で会議に傍聴参加予定。地域、ジェンダ

一、人種多様性を考慮して投票する必要がある。会長、副会長、事務局長の選考が重要。候補者をメールで回覧して事前に誰に投票するかの検討を行う。

6-3) Geopark に関する提言を発出：

Geopark と IGCP は、UNESCO の中では、IGGP (International Geoscience and Geoparks Programme) として実施されていることから、IUGS 分科会の下で国内においても連携した活動を行うことが日本からの貢献を明示するためにも重要。

現在日本が行っている世界の地調と連携した活動、アジアとの連携、geopark の活動など、提言では幅広い視点から国際対応と国際貢献の必要性を示すことが重要。

提言の骨子について、再度検討することになった。

6-4) 関係各学協会との連携：

IUGS には、60 を超える国際学会が参画していることから、それらに対応した国内組織との連携、議事録の送付などを検討する。IUGS と密接な関係がある日本地質学会には、組織対応として参加をお願いする（傍聴）。分科会の小委員会にも議事録を配信する。

7) その他

Geohazards に関する国際会議については、IUGS と連携で来年 5 月頃までに実施予定で準備を行う。Web と併用した hybrid の会議を検討する。